

	一般的名称	報告の概要
832	ホリナートカルシウム	消化器癌患者105例を対象としたプロスペクティブ研究において、フルオロウラシル/ホリナートカルシウム群、フルオロウラシル/ホリナートカルシウム/放射線療法群、シスプラチン/フルオロウラシル群を比較したところ、フルオロウラシル/ホリナートカルシウム/放射線療法群で1例、シスプラチン/フルオロウラシル群で3例が死亡した。
833	プロピオン酸フルチカゾン	長期間(少なくとも7年間)吸入副腎皮質ステロイド治療を受けている患者において、大腿骨頸部の骨密度が減少することが示唆された。
834	エストリオール	閉経後にホルモンを使用していた女性において、乳癌となるリスクが増加し、中でも1日2杯以上アルコールを摂取している場合は乳癌発症リスクが高まることが示唆された。
835	ラクトミン	重症急性性肺炎患者において、プロバイオティクス投与群では、投与していない群と比較して多臓器不全、腸管虚血による死亡率が高まることが示唆された。
836	ベバシズマブ(遺伝子組換え)	腎有足細胞からVEGFを欠損させたマウスにおいて、重度の血栓系球体障害が認められた。
837	フルコナゾール	12例の健康人を対象とした無作為化交差試験において、ポリコナゾールあるいはフルコナゾールがフェンタニルの消失時間を遅延させることが示唆された。
838	非ピリン系感冒剤(4)	15名の健康な被験者において、カフェインを含有しているコーラ種子とハロファンリンを併用したところ、ハロファンリンとその活性代謝物のAUC、Cmaxを減少させることが示唆された。
839	フルコナゾール	カルシニューリン阻害剤の静脈内投与を受けている同種造血細胞移植患者53例を対象としたレトロスペクティブ研究において、フルコナゾールの経口投与は静脈内投与と比較してカルシニューリン阻害剤の全平均血中濃度が上昇することが示唆された。
840	コンタクト洗浄液	ウサギにおいて、本剤で洗浄したコンタクトの使用により眼刺激が見られた。
841	コンタクト洗浄液	動物実験において、本剤で洗浄したコンタクトレンズを装着した際、眼に異物感が確認された。
842	塩酸ポリヘキサニド	ソフトコンタクトレンズ洗浄液でコンタクトを洗浄したところ、アcantアメーバ角膜炎となるリスクが高まることが示唆された。
843	染毛剤	本剤によると思われるアナフィラキシー性ショックを起こし、病院に搬送された1例。
844	コンタクト洗浄液	ソフトコンタクトレンズ洗浄液でコンタクトを洗浄したところ、アcantアメーバ角膜炎となるリスクが高まることが示唆された。
845	栄養ドリンク	本剤を服用し、蕁麻疹、アナフィラキシー様症状をきたした1例。
846	塩酸ポリヘキサニド	ソフトコンタクトレンズ洗浄液でコンタクトを洗浄したところ、アcantアメーバ角膜炎となるリスクが高まることが示唆された。
847	虫よけスプレー	子豚において、ディートとオキシベンゾン併用して皮膚に使用すると、それぞれ単独使用の場合に比較して経皮吸収が上昇することが示唆された。